

釜石湾と大船渡湾における底質の回復状況

ねらい：	<p>2011年3月に発生した東日本大震災津波によって、岩手県沿岸の養殖漁場の底質は大きく変化した。釜石湾と大船渡湾では海底に堆積した有機物量を示すCOD_{OH}（アルカリ性過マンガン酸カリウム法）が増加傾向で有機物汚濁が見られたことから、経過観察する必要がある。</p> <p>そこで、釜石湾と大船渡湾の底質調査を継続し、その後の有機物汚濁状況を把握した。</p>
成果の特徴：	<p>釜石湾と大船渡湾でCOD_{OH}の震災以降の推移を把握した。釜石湾では平成24年から平成26年にかけて減少して平成26年には震災前の水準に戻り、その後は横ばいで安定した。大船渡湾では平成24年から平成25年にかけて減少して平成25年には震災前の水準に戻り、その後は横ばいで安定したが、平成27年から平成28年にかけて若干の減少傾向となった。</p>
成果の活用面：	<p>関係する漁協や漁業者等に対して結果を報告し、養殖漁場を持続的に管理していくための基礎データに活用された。</p>

[具体的データ]

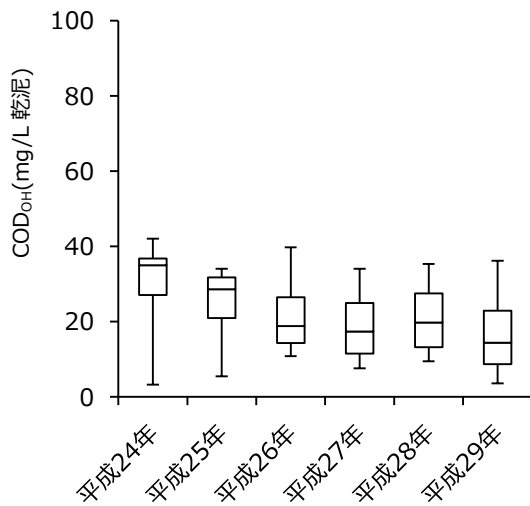


図1 釜石湾における海底泥 COD_{OH}の震災以降の推移
(n=4 中央値、誤差範囲は最大値と最小値)

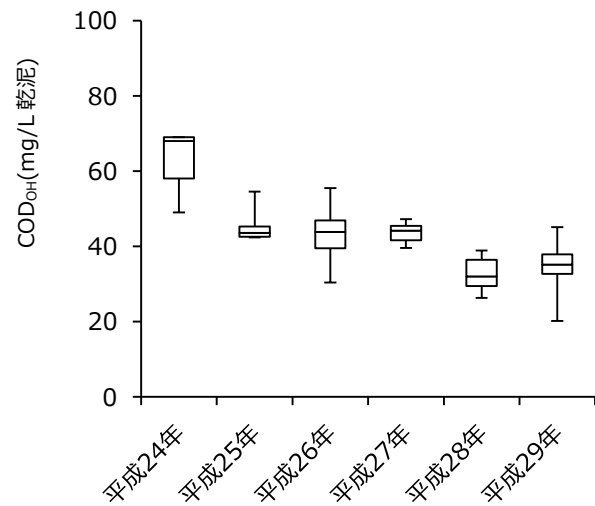


図2 大船渡湾における海底泥 COD_{OH}の震災以降の推移
(n=6 中央値、誤差範囲は最大値と最小値)

担当者	漁場保全部 主任専門研究員 内記公明 TEL0193-26-7919 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号
	ホームページ http://www2.suigi.pref.iwate.jp/